

小諸市 野生鳥獣 商品化事業

2020年2月20日(木)
第7回 全国鳥獣被害対策サミット
農林水産省 講堂

小諸市役所 産業振興部
農林課 林務係

高瀬 龍二



Komoro Premium Venison Pet Food
(小諸市産鹿肉ペットフード)



自治体(小諸市)が開発し、専門家(麻布大学獣医学部)が研究を進めているペットフード
小諸市では、生態系被害・農作物被害対策のために駆除したニホンジカを、保健所と共に設計した衛生管理の行き届いた施設
(小諸市野生鳥獣商品化施設)にて解体し、良質な鹿肉ペットフードを製造・開発する事業に取り組んでいます。
麻布大学獣医学部と共同研究契約を結び、小諸市産鹿肉ペットフードの品質向上を目的とした臨床試験が行われています
(麻布大学私立研究ブランディング事業)

取扱商品 (オープン価格)		
・鹿の角 (おもちゃ)	(全長 12cm)	取扱店舗は、公式HP をご確認ください。 【QRコード参照】→ 画像は取扱店舗にて ご確認ください
・鹿のアキレス腱	(内容量 40g)	
・鹿肉ドライフード	(内容量 100g)	
・鹿肉ジャーキー	(内容量 50g)	
・鹿肉ウェットフード	(内容量 100g)	

加工施設：小諸市野生鳥獣商品化施設 (小諸市甲字鹿山輪 1891 番地 1)

【問い合わせ先】
〒384-8501 長野県小諸市相生町三丁目3番3号
小諸市役所 産業振興部 農林課
TEL: 0267-22-1700 (内線 2225) FAX: 0267-24-3570
Eメール: rinmu@city.komoro.nagano.jp
公式HP: <https://www.komoron.com/komoro-premium-for-dogs/>

!! お得 !!
ふるさと納税でも
お求めいただけます。
【QRコード参照】→



小諸市の野生鳥獣対策

【有害鳥獣駆除を猟友会に業務委託】
猟友会主体の鳥獣対策



猟友会の高齢化・減少により、捕獲圧
を維持することが困難となる

【実施隊・認定鳥獣捕獲等事業者】
行政主体の鳥獣対策

捕獲体制の変更により、小諸市の農業を守る
持続可能な (Sustainable) 鳥獣対策の実現を図る

小諸市の二ホンジカの年間捕獲頭数と 鳥獣による農業被害額

H22年度 シカ捕獲数（捕獲主体：猟友会）：44頭
H22年度 農業被害総額：9,149千円



H27年度 シカ捕獲数（捕獲主体：実施隊）：220頭
H27年度 農業被害総額：1,490千円

捕獲数増加と被害軽減を実現

平成28年度 鳥獣対策優良活動表彰
被害対策部門（団体）農林水産大臣賞 受賞

捕獲数増加と被害軽減を実現した事による弊害

小諸市の鳥獣対策費用が増加

- 捕獲報償費 増（18,000円/頭×220頭【H27】 = 鹿だけで396万円）
- 個体処分費 増（45kg×270円×220頭 = 405万円：鹿の処分費見込）



捕獲個体を小諸市営動物園 飼育動物の
飼料とする取り組みを行っていたが…
多すぎて食べきれない

鳥獣対策費の高騰により
持続可能な鳥獣対策が出来ない恐れ



駆除個体の有効活用、ならびに
鳥獣対策のコスト削減が求められる

シカの有効活用と経費の削減に向けて

駆除個体を商品化し、処理費の軽減を図る



- ・ 経費削減のためには、駆除個体の高い利用率が求められる
- ・ 需要の見込めるペットフードへの利活用が適している

平成28年度 小諸市産鹿肉ペットフード事業の開始
【小諸市野生鳥獣商品化事業】



- ・ 高価な商品となるため、付加価値をつける必要がある

小諸市産鹿肉ペットフード（KP商品）の売り

- ①衛生管理の行き届いた加工施設
【保健所と共に設計した食用としても販売可能な加工施設】
- ②科学的根拠に基づいた鹿肉ペットフードの開発
【麻布大学獣医学部によるKP商品の臨床試験の実施】
- ③商品が作られた背景のPR
【鹿曲輪（しかくるわ）プロジェクト】

①衛生管理の行き届いた加工施設

平成27年 長野県より「野犬・猫の処理施設」を購入
保健所と共に設計した衛生レベルの高い解体施設へと改修する
小諸市野生鳥獣商品化施設



小諸市甲鹿曲輪1981-1



① 衛生管理の行き届いた加工施設

安全性を担保し、良質な商品を製造するため
食用ジビエと同様の機器を整備

ミンチ機・急速冷凍庫・真空包装器・放射性物質検査機・金属検査機など



二次処理室



検査室

搬入されたシカ全頭の放射性物質検査
生産された鹿肉全量の異物（金属）検査を実施

① 衛生管理の行き届いた加工施設



手作業による加工作業



小諸鹿肉ミンチトレー

②科学的根拠に基づいた鹿肉ペットフードの開発



PRESS RELEASE

2019年9月9日

麻布大学、小諸市産鹿肉ペットフードで研究協力 野生動物マネジメントとペットフードサイクル構築で地域振興を支援

麻布大学(学長:浅利昌男、本部:神奈川県相模原市、URL:<https://www.azabu-u.ac.jp/>)は、野生ニホンジカの資源化と有効利用によって、野生動物と人間が共生できる社会のシステム構築を目指し、小諸市が生産したニホンジカ肉を原料としたペットフード「KOMORO PREMIUM」*の開発・販売事業の支援を強化します。

本学は小諸市産鹿肉ペットフードの有用性の確認を目的とした臨床試験や安全性調査等を実施してきましたが、今後、ペットフードの新商品開発や、有用菌がイヌの健康維持に関わる研究、さらには野生鳥獣対策に関与する人材育成などでの協力を拡大していく予定です。

専門家(獣医学部)と共同研究を実施することで
ジビエ肉を不安視する消費者に安全性を伝える

③商品が作られた背景のPR



捕獲したシカを有料ゴミとせず、商品化することで
循環の輪を作り被害対策・保全活動に役立たせる

小諸市野生鳥獣商品化事業 運営状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	※※令和元年度
鹿・搬入自治体	小諸市	小諸市 軽井沢町	小諸市・佐久市 上田市・軽井沢	小諸市・佐久市 上田市・軽井沢
搬入頭数	276	598	902	1,260
小諸市許可捕獲頭数	311	190	204	216
小諸市捕獲個体利用頭数	276	185	187	208
小諸市捕獲個体利用率	89%	97%	92%	96%
商品化事業 収入 (万円)	133	729	1,561	2,136
商品化事業 支出 (万円)	495	981	1,408	2,056
商品化事業 損益 (万円)	-362	-252	153	80
※焼却処分費 予測 (万円)	-335	-225	-227	-253

※焼却処分費 予測 (万円) は 小諸市捕獲個体利用頭数×270円×45kg×-1

※※令和元年度は令和2年1月31日時点の確定額

小諸市で駆除されたシカは高い利活用率を達成した
事業損益が黒字化した事により
持続可能な鳥獣対策の実現に前進することが出来た

事業の安定的な運営に向けて (今後の目標)

課題

- ・ 利益率の高い、新商品の開発に取り組む必要がある
- ・ KP商品の知名度が低い
- ・ 発注数が増加し、現在の人員では製造が間に合わない

今年度の目標

鳥獣被害防止総合支援事業

「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組」を活用し、新商品の開発・販売促進に取り組みたい

KP商品・小諸市産鹿肉を購入したい方が
いらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせ下さい

ご清聴 ありがとうございます